

468
ROUTE

横浜湘南道路（圏央道[栄IC・JCT(仮称)～藤沢IC]）

高速横浜環状南線等と共に圏央道を形成し、広域的な高速道路ネットワークを担い、横浜港との連絡強化による物流の効率化、並行する国道1号の渋滞緩和等に貢献することが期待されます。

横浜湘南道路は、横浜市、鎌倉市、藤沢市の3市を跨ぎ、路線の大部分をトンネル構造とする延長7.5kmの自動車専用道路です。

計画の概要

計画区間	横浜市栄区田谷町～藤沢市城南1丁目		
規格	第1種第3級		
設計速度	80km/h	延長	約7.5km
道路幅員	22m（環境施設帯部57m）	車線数	4車線

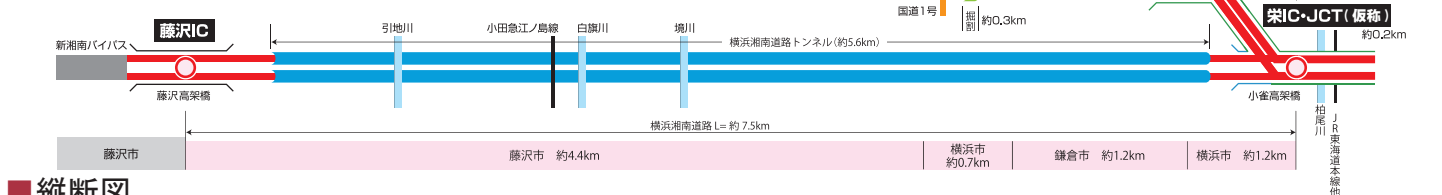
令和8年度の事業

調査設計、栄地区ほか用地買収、横湘トンネル工及び藤沢地区改良工を推進します。

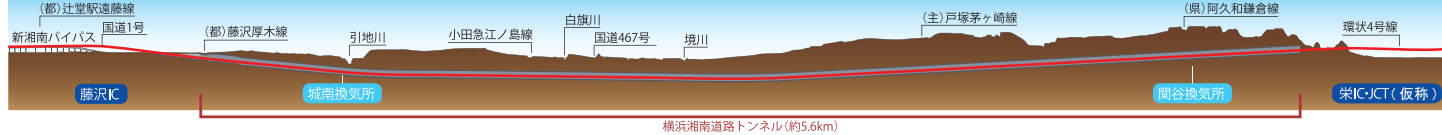
事業位置図



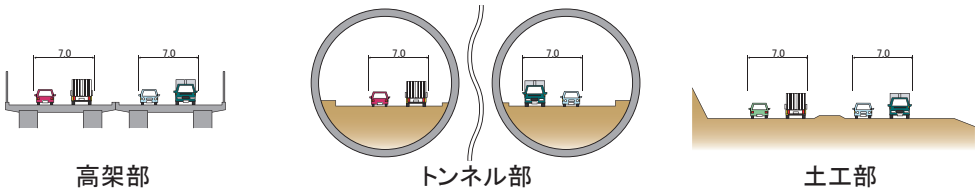
概略図



縦断面図



標準横断面図

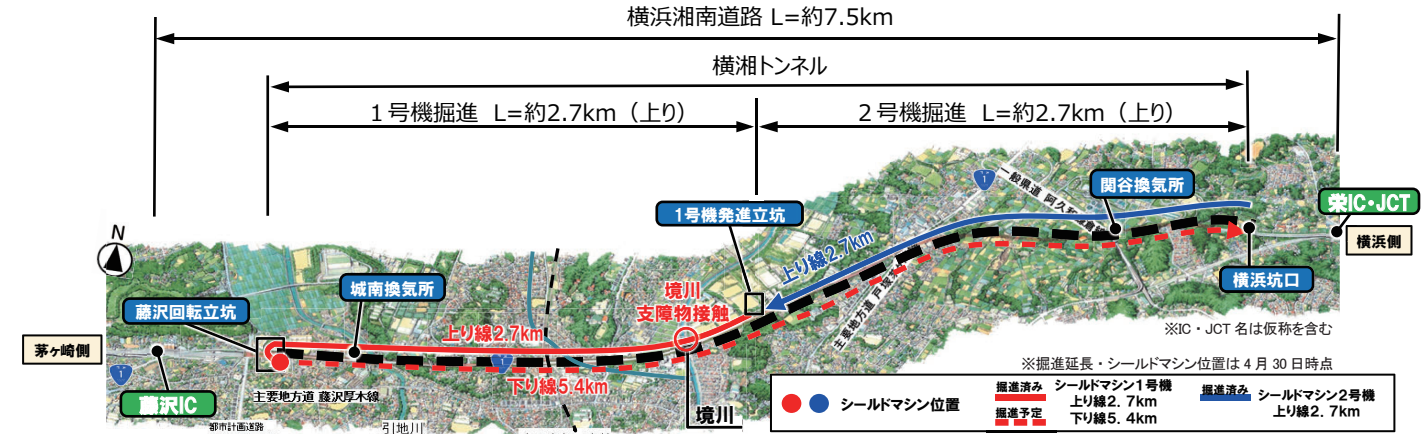


現在の状況（R8. 1時点）



コラム：シールドマシンの掘進状況について

シールドマシン2号機は、令和6年9月に地中接合区間の切削セグメントの切削を終え、掘進が完了しました。掘進完了後、シールドマシンの解体・機内覆工を実施し、上り線は横浜坑口から藤沢回転立坑まで一本のトンネルとして繋がりました。シールドマシン1号機は、令和4年12月に藤沢回転立坑に到達後、狭小な立坑内でシールドマシンを移動させながら、マシンの補修・整備（カッタービット交換等）や再発進準備（反力支保工の設置等）を実施し、令和7年10月、本格的な掘進の準備作業として初期掘進に着手しました。引き続き、安全に配慮しながら、施工を進めてまいります。



シールド1号機：再発進開始の状況



シールド2号機：マシン解体及び機内覆工完了



シールド2号機：地中接合イメージ

